



閻魔堂の前で相撲をとる子どもたち

寺迫の県道高森線と国道443号の交差点近くにある閻魔堂で8月16日、「えんまさんまつり」が行われました。嘘をつけば舌を抜かれるとされている閻魔は、実は病氣や災難から救済してくれる仏様。そのことから地元の人たちに「えんまさん」と呼び親しまれています。この祭りは地域で行われている行事で、寺迫地区の役員など約50人が協力し、毎年行われています。県道の改修などで規模は縮小したものの、出店や閻魔堂の前で行われる子ども相撲大会などを見、夜遅くまで来場者がある好評の祭りです。

「子どもの時えんまさんは怖かった」と地域の人は笑います。にぎやかな笑い声が響く閻魔堂で、怖い「えんまさん」もニッコリ笑っているようでした。

えんまさんもニッコリ

寺迫の閻魔堂で「えんまさんまつり」

町内で相撲の九州大会

九州ブロック相撲競技大会、ほか2大会

町相撲場で8月18日、平成25年度九州ブロック相撲競技大会が開催されました。

今秋開催される国体の前哨戦とされる九州ブロック相撲競技大会では、各県代表の強豪が集い団体戦を行い、熊本県勢は少年男子が準優勝、成年男子が3位という好成績を獲得しました。

同日には、第22回全九州相撲選手権大会、第11回全九州女子相撲選手権大会も開催。団体戦、個人戦が行われました。

全九州女子相撲選手権大会に町内から出場した西本みな代選手(田原)が、一般女子団体戦で優勝、一般女子個人戦一般軽量級(50kg 未満)で準優勝を果たしました。



団体戦で取組を行う熊本県勢(九州ブロック競技大会)



生き物の観察会が行われた田んぼ

夏と冬の違いを実感

下陳地区冬水田んぼで生き物観察会

下陳地区にある、地下水のかん養を目的とした「冬水田んぼ」で7月18日、九州大学 工学研究院のみなさんと、津森小学校5年生の子どもたち17人が水生生物の観察会を行いました。

冬水田んぼは今年で4年目を迎え、冬期と夏期の水生生物を比較する調査が行われています。調査の一環で同校の子どもたちにも水生生物に触れてもらおうと行われた観察会で、子どもたちは普段入って遊ぶことができない田んぼの中に網を入れ、捕まえた生き物の観察を楽しみました。

珍しい生き物も生息していて、捕まえた子どもたちは興味深そうに観察していました。